

【教育学部 初等幼児教育専攻】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	教師論	富江 宏	1年後期	2	高等学校、特別支援学校、教育行政機関で勤務した実務経験を活かし、教職入門としての、教職の意義、教員としての使命、自覚など、教員専門職としての在り方教授する。
2	初等教科教育法(国語)	上本 雅也	2年前期	2	高等学校の国語科教員として、また教育行政機関で勤務した実務経験を活かし、国語教育の変遷を理解し、今日の国語教育に求められている指導内容や指導方法を教授する。
3	初等教科教育法(理科)	中辻祥仁	2年前期	2	中学校、高等学校での理科教員としての実務経験を活かし、系統的学びを重視し、中学校および高等学校理科との連携に配慮しながら授業計画の構築を目指す。
4	初等教科教育法(算数)	小谷 雅彦	2年後期	2	中学校の数学科教員として、また、教育行政機関で勤務した実務経験を活かし、算数科学習指導案の書き方および算数教育の授業実践に関する基本的な知識・理論を習得させる。
5	初等教科教育法(社会)	國嶋智行	2年後期	2	中学校社会科教員、高等学校地歴科教員としての実務経験を活かし、社会認識を育成する社会科の授業づくりの方法を理解し、実践的な授業を行うための基礎的な技能を身につけさせる。
6	小学校実習事前事後指導	舟橋・國嶋・中辻・松尾・川内・野崎・濱川・上本・南澤・鈴木・宮本・諸木	3年前期	1	教員として、教育実習生の指導を行ってきた実務経験を活かし、教育実習に必要な知識や態度の習得させ、事後指導として、教育実習の総括と自己評価を行い、実習後の課題を見出す。
7	教職実践演習(幼・小)	舟橋・國嶋・中辻・松尾・川内・野崎・濱川・梅本・上本・中村・鈴木・宮本	4年後期	2	教員の実務経験を活かし、教員として必要な基礎的資質の形成について確認し、教職生活をより円滑にスタートできるようになることを目指す。
合計				13	

【教育学部 国語教育専攻】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	教師論	富江 宏	1年後期	2	高等学校、特別支援学校、教育行政機関で勤務した実務経験を活かし、教職入門としての、教職の意義、教員としての使命、自覚など、教員専門職としての在り方教授する。
2	中等教科教育法(国語Ⅰ)	舟橋秀晃	1年後期	2	中学校、高等学校での国語科教員としての実務経験を活かし、中等国語科教育の目標・内容・方法などを理解し、望ましい授業構想やその指導法についての知識と能力を習得する。
3	中等教科教育法(国語Ⅱ)	舟橋秀晃	2年前期	2	中学校、高等学校での国語科教員としての実務経験を活かし、模擬授業を通して、授業計画・評価・発問・板書などの実践力を培い、中等国語科教員としての知識・技能などを教授する。
4	中等教科教育法(国語Ⅲ)	上田精也	2年後期	2	高等学校での国語科教員としての実務経験を活かし、中・高等学校の各社の教科書の比較検討を通して、中等国語科教育の各領域のねらいや教材の役割、特性、課題を学ぶ。
5	中等教科教育法(国語Ⅳ)	上田精也	3年前期	2	高等学校での国語科教員としての実務経験を活かし、中等国語科教育の今日の課題や、自己の教育実習で残った課題を持ち寄って討議し、国語教員としての高い知識や能力・技能を身につける。
6	中等教育実習事前事後指導	舟橋・礪波・樋山・諸木・開・山埜・牧下・勝・上田	3年前期	1	教員として、教育実習生の指導を行ってきた実務経験を活かし、教育実習に必要な知識や態度の習得させ、事後指導として、教育実習の総括と自己評価を行い、実習後の課題を見出す。
7	教職実践演習(中・高)	舟橋・礪波・樋山・諸木・開・山埜・牧下・勝・上田	4年後期	2	教員の実務経験を活かし、教員として必要な基礎的資質の形成について確認し、教職生活をより円滑にスタートできるようになることを目指す。
合計				13	

【教育学部 数学教育専攻】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	教師論	富江 宏	1年後期	2	高等学校、特別支援学校、教育行政機関で勤務した実務経験を活かし、教職入門としての、教職の意義、教員としての使命、自覚など、教員専門職としての在り方教授する。
2	中等教科教育法(数学Ⅰ)	牧下 英世	1年後期	2	高等学校での数学科教員としての実務経験を活かし、学習指導要領の基本的な考え方及び要旨を理解したうえで、書かれている数学の授業内容について教授する。
3	中等教科教育法(数学Ⅱ)	牧下 英世	2年前期	2	高等学校での数学科教員としての実務経験を活かし、授業指導計画案の作成方法、教授上の発問・板書・課題・教具などの技巧と利用法を教授する。
4	中等教科教育法(数学Ⅲ)	開 康壽	2年後期	2	中学校での数学科教員としての実務経験を活かし、指導案作成、模擬授業実践、意見交換を通じて中等教育内容の問題点・困難点を把握する。
5	中等教科教育法(数学Ⅳ)	開 康壽	3年前期	2	中学校での数学科教員としての実務経験を活かし、数学教育における教材の例とそれらの教育目的の理解、数学教育の現状と問題点について教授する。
6	中等教育実習事前事後指導	舟橋・礪波・樋山・諸木・開・山埜・牧下・勝・上田	3年前期	1	教員として教育実習生の指導を行ってきた実務経験を活かし、教育実習に必要な知識や態度の習得させ、事後指導として、教育実習の総括と自己評価を行い、実習後の課題を見出す。
7	教職実践演習(中・高)	舟橋・礪波・樋山・諸木・開・山埜・牧下・勝・上田	4年後期	2	教員の実務経験を活かし、教員として必要な基礎的資質の形成について確認し、教職生活をより円滑にスタートできるようになることを目指す。
合計				13	

【教育学部 英語教育専攻】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	教師論	富江 宏	1年後期	2	高等学校、特別支援学校、教育行政機関で勤務した実務経験を活かし、教職入門としての、教職の意義、教員としての使命、自覚など、教員専門職としての在り方教授する。
2	中等教科教育法(英語Ⅰ)	勝 啓一	1年後期	2	高等学校の英語科教員として、また教育行政機関で勤務した実務経験を活かし、多様な英語教授法に触れて比較検討することにより、実践的な知識・技能を教授する。
3	中等教科教育法(英語Ⅱ)	勝 啓一	2年前期	2	高等学校の英語科教員として、また教育行政機関で勤務した実務経験を活かし、中高の英語教員として英語教育の実践につながる知識を身につけ、実際に授業を組み立てる基礎力を養う。
4	中等教科教育法(英語Ⅲ)	山埜茂彦	2年後期	2	高等学校の英語科教員として、また教育行政機関で勤務した実務経験を活かし、それぞれの教授法の理念を理解し、その理念に基づいた指導案を作成し、模擬授業を通して、授業実践を目指す。
5	中等教科教育法(英語Ⅳ)	山埜茂彦	3年前期	2	高等学校の英語科教員として、また教育行政機関で勤務した実務経験を活かし、教育法Ⅲで体験習得した指導法をベースにして、教科内容の学習を通して英語の習得を図る。
6	中等教育実習事前事後指導	舟橋・礪波・樋山・諸木・開・山埜・牧下・勝・上田	3年前期	1	教員として教育実習生の指導を行ってきた実務経験を活かし、教育実習に必要な知識や態度の習得させ、事後指導として、教育実習の総括と自己評価を行い、実習後の課題を見出す。
7	教職実践演習(中・高)	舟橋・礪波・樋山・諸木・開・山埜・牧下・勝・上田	4年後期	2	教員の実務経験を活かし、教員として必要な基礎的資質の形成について確認し、教職生活をより円滑にスタートできるようになることを目指す。
合計				13	

【保健医療学部 看護学科】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	基礎看護技術論Ⅰ	角田はる美・奥山幸子・岡部美穂	1前	2	看護師の実務経験(5年以上)を活かし、科学的な根拠に基づき、対象の安全安楽自立を目指す看護技術を習得できる為の思考と技術を教授する。
2	基礎看護技術論Ⅱ	角田はる美・奥山幸子・岡部美穂	1後	2	看護師の実務経験(5年以上)を活かし、科学的な根拠に基づき、対象の安全安楽自立を目指す看護技術を習得できる為の思考と技術を教授する。
3	成人・老年臨床看護学Ⅰ	角田 旬子	2前	2	看護師の実務経験(5年以上)を活かし、成人期の急性期・周手術期の看護について学び、看護実践能力を高める為の素地をつくる。
4	成人・老年臨床看護学Ⅱ	角田 旬子	2前	2	看護師の実務経験(5年以上)を活かし、成人期の慢性期、終末期の看護について学び、看護実践能力を高める為の素地をつくる。
5	小児臨床看護学	岡保由美子・橋美保子	2前	2	看護師の実務経験(5年以上)と臨地実習教育経験を活かし、実際の臨床経験から得たケースを授業に取り入れ学生に現実的な視点を提供する。 小児期の成長発達に応じた看護について思考できるよう、具体的な症例や治療法、家族との関わり方などを共有する。
6	精神臨床看護学	柳下 圭代	2前	2	看護師の実務経験(5年以上)を活かし、精神障害のある対象への理解と看護実践に向けた基礎的知識と技術を教授する。
7	地域・在宅臨床看護学	妹尾 香里	2前	2	看護師の実務経験(5年以上)を活かし、在宅療養者と家族の理解、在宅療養者へ援助技術の実際を学び、実践能力を高める為の素地をつくる。
合計				14	

【保健医療学部 総合リハビリテーション学科・理学療法学専攻】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	呼吸障害理学療法学	赤壁知哉	2後	1	担当教員の理学療法士としての臨床経験(5年以上)に基づき、呼吸器疾患に関する理学療法について概説する。
2	呼吸障害理学療法学演習	赤壁知哉	3前	1	担当教員の理学療法士としての臨床経験(5年以上)に基づき、呼吸器疾患と循環器系疾患に関する理学療法について、その実技を教授する。
3	基礎理学療法評価学	梶原良之・赤壁知哉	1後	2	担当教員の理学療法士としての臨床経験(5年以上)に基づき、臨床現場での理学療法における身体機能評価について概説し、その実技を学ぶ。
4	中枢神経障害理学療法学	糸谷 圭介	2後	1	担当教員の理学療法士としての臨床経験(5年以上)に基づき、大脳や脊髄といった中枢神経系のメカニズムと異常について学び、それらに対する理学療法を概説する。
5	中枢神経障害理学療法学演習	糸谷 圭介	3前	1	担当教員の理学療法士としての臨床経験(5年以上)に基づき、大脳や脊髄といった中枢神経系のメカニズムと異常について学び、その実技を教授する。
6	発達障害理学療法学	糸谷 圭介	2後	1	担当教員の理学療法士としての臨床経験(5年以上)に基づき、人間の発達を理解するとともに発達の異常や障害とを知り、発達障害に対する理学療法を概説する。
7	発達障害理学療法学演習	糸谷 圭介	3前	1	担当教員の理学療法士としての臨床経験(5年以上)に基づき、人間の発達を理解するとともに発達の異常や障害とを知り、その実技を教授する。
8	内部・循環障害理学療法学	赤壁知哉	2後	1	担当教員の理学療法士としての臨床経験(5年以上)に基づき、内科系疾患と循環器系疾患に関する基礎知識と理学療法について概説する。
9	内部・循環障害理学療法学演習	赤壁知哉	3前	1	担当教員の理学療法士としての臨床経験(5年以上)に基づき、内科系疾患と循環器系疾患に関する基礎知識と理学療法について、その実技を教授する。
10	運動器障害理学療法学	足立 元気	2後	1	担当教員の理学療法士としての臨床経験(5年以上)に基づき、筋肉・関節・骨の異常を学び、それらに対する理学療法評価および治療学について概説する。
11	運動器障害理学療法学演習	足立 元気	3前	1	担当教員の理学療法士としての臨床経験(5年以上)に基づき、筋肉・関節・骨の異常を学び、それらに対する理学療法評価および治療学について、その実技を教授する。
12	スポーツ障害学	岩下 篤司	3前	1	担当教員の理学療法士としての臨床経験(5年以上)に基づき、理学療法におけるスポーツ障害について理解し、テーピングなどの障害発生時のアプローチについて概説する。
合計				13	

【保健医療学部 総合リハビリテーション学科・作業療法学専攻】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	身体障害の作業療法Ⅰ	福本 倫之	2後	1	担当教員の作業療法士としての臨床経験(5年以上)に基づいて、身体障害領域の代表的疾患に関する作業療法について概説する。
2	身体障害の作業療法Ⅱ	渡辺 裕生	2後	1	担当教員の作業療法士としての臨床経験(5年以上)に基づいて、身体障害領域の代表的疾患に関する作業療法について概説する。
3	高次脳機能障害の作業療法	福本 倫之	3前	2	担当教員の作業療法士としての臨床経験(5年以上)に基づいて、高次神経障害の症状やそれに対する作業療法について概説する。
4	老年期障害の作業療法	澤賢 一郎	3前	1	担当教員の作業療法士としての臨床経験(5年以上)に基づいて、認知症を中心とした老年期障害領域に関する作業療法について概説する。
5	老年期障害演習	渡辺 裕生	3前	1	担当教員の作業療法士としての臨床経験(5年以上)に基づいて、認知症を中心とした老年期障害領域に関する作業療法的な捉え方についてグループディスカッション等を通して演習する。
6	発達障害の作業療法	榊原 康仁	3前	1	担当教員の作業療法士としての臨床経験(5年以上)に基づいて、脳性麻痺を中心とした発達障害領域に関する作業療法について概説する。
7	発達障害演習	榊原 康仁	3前	1	担当教員の作業療法士としての臨床経験(5年以上)に基づいて、発達障害の作業療法の意味や位置づけ、さらにはそれらに対する作業療法について概説する。
8	精神障害の作業療法	森泰 祐	2後	1	担当教員の作業療法士としての臨床経験(5年以上)に基づいて、統合失調症を中心とした精神障害領域に関する作業療法について概説する。
9	精神障害演習	森泰 祐	3前	1	担当教員の作業療法士としての臨床経験(5年以上)に基づいて、精神障害の作業療法の意味や位置づけ、さらにはそれらに対する作業療法について概説する。
10	日常生活活動	辻村 肇	2前	1	担当教員の作業療法士としての臨床経験(5年以上)に基づいて、日常生活活動の意味や位置づけ、さらにはそれらに対する作業療法について概説する。
11	地域作業療法	辻村 肇	3前	2	担当教員の作業療法士としての臨床経験(5年以上)に基づいて、地域作業療法の意味や位置づけ、さらにはそれらに対する作業療法について概説する。
12	身体障害演習	福本 倫之	3前	1	担当教員の作業療法士としての臨床経験(5年以上)に基づいて、中枢神経障害を中心とした身体障害領域に関する作業療法的な捉え方についてグループディスカッション等を通して演習する。
合計				14	

【保健医療学部 総合リハビリテーション学科・言語聴覚学専攻】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	備考(担当者の実務経験と教育内容との関連を簡潔に)
1	失語症評価学	中尾雄太	2後	2	言語聴覚士としての臨床経験(5年以上)に基づき、失語症の諸検査の手順、結果の読み取りを学び、評価法を修得させる。
2	失語症学	中尾雄太	2前	2	言語聴覚士としての臨床経験(5年以上)に基づき、失語症の類型、発現機序、脳画像との対応などを修得させる。
3	高次脳機能障害学	中尾雄太	2後	2	言語聴覚士としての臨床経験(5年以上)に基づき、高次脳機能障害の類型、発現機序、脳画像との対応などを修得させる。
4	言語発達障害学	鈴木瑞恵	2前	2	言語聴覚士としての臨床経験(5年以上)に基づき、言語発達障害の障害の分類、治療学、歴史などを修得させる。
5	言語発達障害評価演習	鈴木瑞恵	3後	1	言語聴覚士としての臨床経験(5年以上)に基づき、言語発達障害児のレポート形成のための接し方、評価法などを修得させる。
6	言語聴覚障害概論	佐藤俊彦	1前	2	言語聴覚士としての臨床経験(5年以上)に基づき、言語聴覚障害に関わる概論により、専門に至るまでの基礎について修得させる。
7	摂食・嚥下障害学	鈴木瑞恵	2前	2	言語聴覚士としての臨床経験(5年以上)に基づき、摂食嚥下障害についての、発現機序、摂食嚥下療法などを修得させる。
8	摂食・嚥下障害評価演習	外山慶一	3後	1	言語聴覚士としての臨床経験(5年以上)に基づき、摂食嚥下障諸検査の手順、結果の読み取りを学び、評価法を修得させる。
合計				14	

【政治経済学部－政治・政策学科】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	キャリア研究Ⅰ	倉橋・中岡・橋爪 他7名	1年通年	2	企業から講師を招聘し、経営あるいは勤務する企業における実務経験を基に学生のキャリア形成や大学で身に着けるべき力について考える契機とする。
2	キャリア研究Ⅱ	金井・中岡・橋爪 他7名	2年通年	2	企業あるいは政界・官界から多くの講師を招聘し、実務経験を基にキャリア形成や大学で身に着けるべき力について考えを深めることが期待される。
3	法律学基礎	藤田寿夫・倉橋弘	1年前期	2	担当教員のうち1名は弁護士としての実務経験を持つ。当該教員は民法及び刑法に関する分野を担当し、実務経験から豊富な事例を挙げて講義を行っている。
4	民法	藤田 寿夫	2年後期	2	弁護士としての実務経験を基に、豊富な事例を挙げながら学生の理解を深める講義を行う。
5	税法	豊 憲一郎	2年前期	2	担当教員の公認会計士・税理士としての経験を活かし、実務に即した学修を行う。
6	マスメディア論Ⅰ	橋詰 悦荘	2年後期	2	担当教員の40年以上にわたるマスメディア企業での記者・編集・解説委員としての経験を基に具体的事例を豊富に交えた講義を行う。
7	マスメディア論Ⅱ	橋詰 悦荘	3年後期	2	担当教員の40年以上にわたるマスメディア企業での記者・編集・解説委員としての経験を基に具体的事例を豊富に交えた講義を行う。
合計				14	

【政治経済学部－経済経営学科】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	キャリア研究Ⅰ	倉橋・中岡・橋爪 他7名	1年通年	2	企業から講師を招聘し、経営あるいは勤務する企業における実務経験を基に学生のキャリア形成や大学で身に着けるべき力について考える契機とする。
2	キャリア研究Ⅱ	金井・中岡・橋爪 他7名	2年通年	2	企業あるいは政界・官界から多くの講師を招聘し、実務経験を基にキャリア形成や大学で身に着けるべき力について考えを深めることが期待される。
3	マーケティング論	浜田裕一郎	2年前期	2	担当教員の企業経営の経験と経営する企業での業務経験を活かし、実務に即した学修を行う。
4	簿記Ⅰ	豊 憲一郎	1年前期	2	担当教員の公認会計士・税理士としての経験を活かし、実務に即した学修を行う。
5	簿記Ⅱ	豊 憲一郎	1年後期	2	担当教員の公認会計士・税理士としての経験を活かし、実務に即した学修を行う。
6	管理会計論	豊 憲一郎	3・4年前期	2	担当教員の公認会計士・税理士としての経験を活かし、実務に即した学修を行う。
7	税務会計論	豊 憲一郎	3・4年後期	2	担当教員の公認会計士・税理士としての経験を活かし、実務に即した学修を行う。
合計				14	

【政治経済学部－グローバルビジネス学科】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	キャリア研究Ⅰ	倉橋・中岡・橋爪 他7名	1年通年	2	企業から講師を招聘し、経営あるいは勤務する企業における実務経験を基に学生のキャリア形成や大学で身に着けるべき力について考える契機とする。
2	キャリア研究Ⅱ	金井・中岡・橋爪 他7名	2年通年	2	企業あるいは政界・官界から多くの講師を招聘し、実務経験を基にキャリア形成や大学で身に着けるべき力について考えを深めることが期待される。
3	プログラミングⅠ	沼田 秀穂	1年後期	1	担当教員は、大手企業のIT部門で重要な職責を担い、また、自らIT技術を用いたコンサルティング業務を行う起業を経営してきた。その技術と経験を活かして実務に即した学修を行う。
4	プログラミングⅡ	沼田 秀穂	2年前期	1	担当教員は、大手企業のIT部門で重要な職責を担い、また、自らIT技術を用いたコンサルティング業務を行う起業を経営してきた。その技術と経験を活かして実務に即した学修を行う。
5	データサイエンスⅠ	沼田 秀穂	2年後期	2	担当教員は、大手企業のIT部門で重要な職責を担い、また、自らIT技術を用いたコンサルティング業務を行う起業を経営してきた。その技術と経験を活かして実務に即した学修を行う。
6	マネジメント基礎	浜田裕一郎	1年後期	2	担当教員の企業経営の経験と経営する企業での業務経験を活かし、実務に即した学修を行う。
7	マーケティング論	浜田裕一郎	2年後期	2	担当教員の企業経営の経験と経営する企業での業務経験を活かし、実務に即した学修を行う。
8	経営戦略論	反田 和成	2年前期	2	担当教員の大手商社で営業部門、監査部門、人材育成部門などの重要なポジションを務めた経験を基に、実務に即した学修を行う。また講義の一部に企業経営者を外部講師として実務としての経営戦略について講話を伺う。
合計				14	

【理工学部】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	キャリアデザインⅠ	田中、他8名	1年通年	2	多様な企業から講師を招聘し、勤務する企業における実務経験を基に学生のキャリア形成や大学で身に着けるべき力について考える契機とする。
2	キャリアデザインⅡ	田中、他8名	2年通年	2	多様な企業から講師を招聘し、勤務する企業における実務経験を基に、研究者・技術者として生きるために大学で身につけるべき力について考えさせる契機とする。
3	電子回路設計	鹿間 信介	3年前期	2	電機メーカーで電子機器に関する開発・設計・マネジメントなどを経験したことを踏まえ、履修する学生が「使える電子回路技術」に少しでも近づけるように講義を行います。
4	電気電子材料学	尾身 博雄 山脇 正雄	2年前期	2	担当者の一人(尾身博雄)は大手通信会社の電気電子材料に係わる基礎研究所に24年勤務した経験をもつ、その実務経験に基づき、半導体材料を中心とした電気電子系機能材料の基礎およびデバイス開発の現状を説明する。
5	電気通信システム	尾身 博雄	3年前期	2	担当者(尾身博雄)は大手通信会社の基礎研究所に24年勤務した経験をもつ、本科目(電気通信システム)の全ての授業はその実務経験に基づいて行う。
6	流れ学	高田 一貴	2年前期	2	本講義担当者は大手プラント機器メーカーで26年間、プラント機器に関する研究、開発、設計、設備運転の実務経験を持つ。本講義では、プラント機器や設備における流れ学や流体力学の適用経験に基づき講義をおこなう。
7	流体力学	高田 一貴	3年前期	2	本講義担当者は大手プラント機器メーカーで26年間、プラント機器に関する研究、開発、設計、設備運転の実務経験を持つ。本講義では、プラント機器や設備における流れ学や流体力学の適用経験に基づき講義をおこなう。
合計				14	

【社会学部】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	キャリアデザインⅠ	梅本、他6名	1年前期	1	多様な企業から講師を招聘し、学生に2年次に分属するコース選択について考えさせる契機とする。
2	キャリアデザインⅡ	梅本、他6名	2年後期	1	多様な企業から講師を招聘し、学生に2年次に分属するコース選択について考えさせる契機とする。
3	キャリアデザインⅢ	梅本、他6名	2年前期	1	多様な企業から講師を招聘し、将来社会人として働き生活することについて考えさせる契機とする。
4	キャリアデザインⅣ	梅本、他6名	2年後期	1	多様な企業から講師を招聘し、将来社会人として働き生活することについて考えさせる契機とする。
5	人文地理学概論	児玉 恵理	2年後期	2	地理教員の実務経験を活かし、社会学を学ぶうえで基盤となる人文地理学についての知識と能力を身につけさせる。
6	日本史概論	得能弘一	2年後期	2	日本史教員の実務経験を活かし、社会学を学ぶうえで基盤となる日本史についての知識と能力を身につけさせる。
7	環境社会学	天野健作	2・3年後期	2	新聞記者の実務経験を活かし、現代社会学分野の専門科目の1つである環境問題についての知識と考察・分析する能力を身につけさせる。
8	ジャーナリズム論	佐々木正明	2・3年後期	2	新聞記者の実務経験を活かし、メディア社会学分野の専門科目の1つであるジャーナリズムについての知識と表現する能力を身につけさせる。
9	中等教科教育法(社会)Ⅰ	秋岡祥介	2年前期	2	社会科教員の実務経験を活かし、中学校社会科教育の目標・内容・方法などを理解し、望ましい授業構想やその指導法についての知識と能力を習得する。
合計				14	

【情報学部】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	数理モデリング	名倉 賢	3年後期	2	損害保険会社において金融工学を基にした計量的なリスク管理の実務経験を活かし、統計学における内容・方法などを理解し、望ましいデータ処理の在り方を身に着け、その手法についての知識と能力を習得する。
2	データサイエンス基礎	名倉 賢	1年前期	2	損害保険会社において金融工学を基にした計量的なリスク管理の実務経験を活かし、データサイエンスにおける内容・方法などを理解し、望ましいデータ処理の在り方を身に着け、その手法についての知識と能力を習得する。
3	情報社会論	名倉 賢 他1名	2年前期	2	内閣官房においてEBPMを基にした政策立案の実務経験を活かし、社会における情報科学の内容・方法などを理解し、Society 5.0での望ましい社会の形を言語化するための手法や能力を習得する。
4	情報政策論	名倉 賢 他1名	2年後期	2	内閣官房においてEBPMを基にした政策立案の実務経験を活かし、行政における情報科学の内容・方法などを理解し、Society 5.0での望ましい政策の在り方を提言するための手法や能力を習得する。
5	情報システム	小林 彰夫 他1名	3年前期	2	放送局において音声を基にした字幕作成のためのシステム開発の実務経験を活かし、コンピュータを用いたシステム開発の内容・方法などを理解し、システム開発のための手法についての知識と能力を習得する。
6	基礎演習	小林 彰夫 他8名	1年通年	2	放送局において音声を基にした字幕作成のためのシステム開発の実務経験を活かし、メディアの特性を活かしたシステム開発の内容・方法などを理解し、それぞれのメディアの特徴や特性についての知識と能力を習得する。
7	専門演習Ⅰ	小林 彰夫 他13名	2年通年	2	放送局において音声を基にした字幕作成のためのシステム開発の実務経験を活かし、インターフェイスを用いたシステム開発の内容・方法などを理解し、人間の特性を活かしたシステムの特徴や特性についての知識と能力を習得する。
合計				14	